

ガトウカト云フ事ニテテ(白曜)其旨一部モ電報ヲ通知スル事ニシタ  
元々、三六日附テ一部カラノ電報ハ、自六日ヨリ四日迄教育上ノ任事ガアリ、自六日、ドウカト  
云フ照会ガ来タ、依テ青藤ノ方モ其旨打合セキナシテ、八月六日行クカラト云フ電報  
ヲ打ツテ置イタ、一部カラモ返電ガアリテ、承知シタ旨云フテ来タ。

一九八五、面會ハ青藤ノ子ト甲子部ト同伴シテ、金子駅一番ニ出発シ、金子駅  
ニテ、よし子同集、東京駅ニ午前十時半到着シ、盛夏ノ候、テマリ食糧品ハ苦心シタ、食  
パンヤ赤飯モ用意シタリ、焼餅等モ作リ、東京駅発ハ午前十時、東軍岡田着ハ六日、早  
朝四時半頃、テマツ岡田ニテ、宇野線ニ東換ハ約三時、岡田位テ、宇野ニ着、高松行ノ連絡  
船ヲ待リ、波止場ニ着クト同時ニ、連絡船ハ、発船シテ、マツ、茲ニテ約三時、向モ待タセタ、東  
船着ノ混雑ハ、名状スベキモ、状況テ、眞ニ命懸ケノ旅行、漸クシテ九時、東船スル事ガ出  
来テ、十時頃、高松着、既ニ既ニ待合セ、列車ニ乗ラントスル時、物騒シシ、吾勝ニ列車  
ニ飛込、ハ、駭セハ、ハ、レ、テ、戦場、極グタ、高松發、豊港ニ到着シタ、八午前、土時半頃、テ  
ア、宇野、野ト云ヒ、高松ト云ヒ、生シテ始メ、終、旅、テ、戦時交通ノ非常サヲ、熟クテ、体、験、シ、タ、感、  
シ、タ、ハ、町、海岸、ヨリ、テ、能、船、幹、候、隊、ガ、教、ヘ、ラ、シ、タ、最近、出来、多、ク、相、未、十、兵、舎、テ、工、場、ガ、モ、  
カ、ト、云、フ、感、ジ、ス、ル、モ、ハ、テ、ア、タ、大、型、ノ、兵、舎、ガ、来、六、棟、迄、並、ビ、テ、居、タ、衛、兵、所、面、會、記、ヲ、書、キ、  
出、タ、所、衛、兵、ハ、直、生、**「中島候補生ハ今朝某方面ニ出動、自下留守、マ、レ、旨、告、**

々事ハ、余、勝、勝、タ、百、數、十、車、道、ノ、非常、困難、ニ、逢、ヒ、テ、漸ク、豊、港、地、方、面、會、所、  
ハ、至、リ、然、モ、四、時、間、程、前、三、部、ハ、豊、港、ヲ、出、発、ス、ト、云、フ、バ、デ、ル、吾、等、ハ、余、勝、勝、タ、カ、  
タ、依、テ、下、先、加、田、團、曹、ニ、逢、ヒ、テ、見、ル、コ、ト、ニ、シ、テ、衛、兵、所、通、リ、面、會、所、ハ、十、時、行、タ、所、  
右、ニ、テ、面、會、人、ガ、相、當、目、イ、マ、シ、テ、可、成、混、雑、シ、テ、居、タ、加、田、團、曹、ハ、直、グ、来、ラ、シ、タ、時、計、話  
カ、直、グ、出、タ、團、曹、ハ、**「私、本、始、未、カ、ラ、御、迷、惑、カ、レ、テ、マ、ツ、テ、申、訳、ナ、イ、ト、陳、謝、サ、レ、代、品、ヲ、  
軍、力、ヲ、支、給、ス、ル、カ、ラ、ト、話、テ、ア、タ、一、部、ノ、今朝、出、動、ハ、余、勝、勝、タ、カ、ラ、シ、テ、更  
ニ、身、心、ノ、不、柄、ナ、某、少、尉、ガ、来、ラ、シ、テ、一、部、ノ、移、転、ノ、事情、ヲ、話、シ、テ、ク、レ、タ、突然、ノ、指令、ヲ、受、地、然  
モ、此、ノ、所、ニ、教育、上、任、ヲ、命、ゼ、シ、シ、出、動、シ、テ、南方、ニ、行、ク、コ、ト、ケ、テ、ハ、イ、テ、故、何、レ、近、日、内、再、面  
會、ガ、差、許、サ、レ、事、ヲ、テ、ア、ラ、ウ、カ、ラ、ト、事、テ、ア、ラ、テ、其、行、先、ハ、判、然、ト、教、ヘ、ラ、シ、テ、カ、ラ、タ、加  
田、團、曹、カ、ラ、更、ニ、**「中島、君、ハ、内地、ノ、勸、務、テ、直、ク、外地、ニ、行、ク、事、ハ、ナ、イ、タ、ラ、ウ、カ、ラ、安心、シ、テ、  
再、面、會、白、ヲ、待、タ、ル、株、ト、事、ヲ、安、心、シ、タ、リ、落、膽、シ、タ、リ、少、尉、ト、團、曹、ニ、謝、辞、ヲ、陳、  
バ、テ、止、ム、テ、豊、港、一、部、隊、ヲ、辭、ス、ル、コ、ト、テ、シ、タ、時、計、ハ、二、時、頃、テ、ア、タ、ト、思、ヒ、タ、私、達、三、人  
ハ、衛、兵、所、出、タ、云、ヒ、知、シ、又、淋、シ、サ、ガ、三、人、ノ、心、ヲ、鬱、々、ト、長、嘆、息、セ、ル、ヲ、得、ナ、カ、タ、然、レ、一、方、ニ  
ハ、他、ノ、戦、友、達、ハ、今日、面、會、シ、ヨ、ク、テ、何、レ、南方、決、戦、場、ニ、行、ク、テ、ア、ラ、ウ、ニ、一、部、ハ、内地、ニ  
勤、務、ガ、出、来、ル、ト、シ、タ、ラ、今日、面、會、シ、出、来、ナ、イ、モ、何、レ、苦、シ、モ、テ、ラ、イ、一、部、ハ、未、タ、当、分、内地  
ニ、居、ラ、レ、ル、ト、云、フ、考、ヘ、ニ、心、ヲ、慰、メ、テ、今夜、ハ、琴、平、町、ニ、泊、ル、事、ヲ、決、シ、テ、琴、平、町、ニ、着、イ、タ、ハ、****

午後五時頃夏白暮ルニ米ダ相当時間ガアタ宿ノ覽スルマニ神社ニ参詣スル  
事ニシテ過シ六正ニ年ノ琴平神社終詣カウセニ終圓心テ其ノ當時ノ思ヒ出ハ今残  
ヲ居ラヌモチアアタ敷多イ右段ヨリ登リテ終圓ニ着イタ天レカラルト本堂ニ達スル  
全國ニシテエタ神社テアル故御構誠ニ神々シク限リテアル遙カ右ノ方ハ那戸内海ヨリ望ム  
コトカ出来ル私達ハ社前ノ瀨カイヤ一部武邊長久ヲ祈願シタ一部無事帰村ハ必  
登山御礼参リマシ心ヲ遊ソタ 神社ノ参拜ヨリマセテ宿ニ歸ル丁度入浴時間アタ  
車中ヨリ船ハ月ヨリ豊津ヘ折テ旅行ヨリマシ入港ハ傍トシテモ一番樂シモクアタ  
宿テハ直ク就寢シテ明日ノ旅程ヲ計画シタ

有七日駅前ハ赤ダ薄暗ト早朝宿ヲ出タ琴平ヨリ多慮津ニ東換ヘ高松ニ着イタ  
終シテ四国ノ由南モ不作カヲ想セシタ米ダ種エタ許リノ福モアリ植エタ稲モ水不足ノ  
タ々眞黄色デアルテ食糧事情ノ容易ナラヌモカ感セシタ高松カラ昨日ノ運結船  
ヲ今日モ難香ノ船底ニ押シマシテ、シャツ一枚ニテワヲ着サテ後ハ宇野ニ着イテ列  
車ニテ岡山ニ着イタハ十一時頃アタタ岡山ヨリ倉敷ヲ経テ但備線ニテ出雲大社ニ参詣  
スルコトニシタ但備線ハ四ノ脊骨ヲ貫通シ線ヲ東單ニシモ可成傾斜マカシタタタ  
汽車ニ感セシタ出雲大社ニ着イタ終戦後此辺ニ水村茅田君ガ在隊シテ居タト云フ  
話モ聞イタ茲ニテ山陰線ニテ米子ニ出松江市ヲ通テ今市ニ着ク今市ニテハ一日モ既

ニ西便ト云フアタ今市カニ更ニ大社線ニ乗リ換ヘ大社ヨリト六時半頃アタ  
ワタ駅長ニ話シテ旅舎軒ヲ願フアタ駅カラ七八町モ歩イテ大島居ヨリ教ヘシ  
シ旅ニ着イタ電力管制デアル電灯ハ絶テ消灯セシテアタ蠟燭ノ火デ燈ヲ照ク  
通セシタ星明デ冷イ入浴ヲ許セテ晩食ハ無ク一夜ノ宿ヲ得タ次第アタタ  
有日早朝起床シテ、出雲大社ニ参詣シタ袖城大社殿壯大古色ヲ帯ビル古代  
ノ遺蹟ヲ神社トシテ恐ラク日本ヤヘ雄大トモテ参詣者タル神社ト云  
ハンガナシ余々出雲大社タル名ニフサレンヤ大社アル神社ニ参詣シテ左ニ海岸ニ出  
テ大國去命ニ因縁深々海辺ト南ク風光明美海岸ヲ一巡シ雨ニ大社前ヲ通過  
シ大社ニ参詣ラシタ 古國出雲地ヲ辞シテ鳥取ニ行ク事ニシタ鳥取ニ着イテ列  
車連結上ニ時間ヲ待コトニシタ駅前ノ飲食店ニテ午当ノ任度ヲ願ヒ附近ノ場  
ニ甲子郎ト云ニ入浴ニ行ワリシ時間ノ経過ヲ待タテ携帶中ノ食パンガ腐敗シテカヒラ出シ  
タル故鳥取駅カラ金子駅宛ニ荷物ヲ送達シタ鳥取市ハ先年大地震ヲ破滅スル  
ニ會ヒ復興未ダ成ヌ、破損セル倉庫傾ケル家屋等隨所ニ見ラシタ戦災ニ會ヒタ  
都會ヨリ見ル感ヒガシタ鳥取ヲ出タハ十二時過ぎテアタロウ、京都府ノ豊岡町ニ着イ  
タ茲ニテ峰豊線東換ヘシテ一時間許ヲ待タ午後四時頃アタル豊岡町ヲ一巡シタ  
此所ノ物資ノ豊カナルニ驚カシタ各店頭ニ色々ノ品ガ並ベテアタトアル店ニテトコト

ヲ求メタ豊岡カラ宮津線ニ東換ヘテ天橋立ニ下車タ天橋立ニ着イタハ夕方八時  
頃デアツタラウ暗カリ道ヲ海岸ニ歩イテ免アル旅舎ニ宿ヲ求メタ泊ルニ去ラト云フ話デ  
幸フコトテ座敷ニ通シテ賞ワタ可成五派ナ旅舎デアツタ今座敷ハニニ十人集マワテ  
常會ヲ開イテ居タ区長ラニイ座長ノ声ガヲ聞エテ来タ茲テモ湯ニ入レテ頂イタガ  
水ノ様ニ冷メ切テ居タ常會ガ終ラマ前ニイカ私達ハ眠ワテンマツタ

有九日 日本三京ノ天橋立ハ矢張り良イ景色デアツタ華麗工宮島ヤ自然ノ枝工  
ヲ凝ラシタ松島ト又別ヶ京色ヲ持ツタモデアツタ天孫降臨ノ際天ニ懸ケタル橋ガ  
地ニ下リテ此勝地ニオクト云フ傳説立礼等モ下ツタ宮津湾ニ突出シタ半島ノ(岬)内  
ニ風光豊カナ白砂青松ヲ見ルデアル四圍ノ山モ亦良イ景ヲ添ヒテ居ル天橋立ノ  
觀光ヲ二時間許シテ終リテ舞鶴ヲ経テ旅費向ウク旅費ヲ東換ノ爲ニ時間半余  
別車ヲ待タセシメタ駅前辺ハ賑ヤカデハナシガ街ノ賑ヤ町並デアツタ旅費ニテ北陸本線  
ニ東換ヘ福井ニ着イタ時既ニ午後四時頃デアツタ福井ノ駅前カラ直ニ永手寺行キ電  
車ニ乗リホソホソ雨ガ降り出シタ或中間ノ駅ニ着イタ頃ハ可成ノ降雨デアツタ永手寺  
駅迄四五分カラワタ駅カラダラノ坂補装ニ居ル道ヲ歩キテ五ノ町テ永手寺ニ達シタ  
寺域ハ余リ大イモト思ハシカ又其ノ御構ハ必利トテ禪堂大本山トシテ日本一唱テ居ラル  
カゲマタ寺僧ニテ拜觀カシ頂イタ坐禪堂本堂等莫ニ整テマツテ特ニ記念館ノ

御構ハ警備ヲモカキタ永手寺ハ一泊ヲ願ヒテ更ニ良ク拜觀欲ク軍ガ出来タラト思フカ  
時間ガイテ約一時間許リ拜觀ニ辭シ雨ノ中福井ノ福井町ニ来タハ既ニ夜ノ  
時近ク汽車時間モ都合カ悪カラツ上チク駅前ニ旅舎ヲテ一泊ヲ願フ事ニシタ  
有百福井ノ旅舎ハ浴室モヤケハ朝食モ粗末ナ飢ヲ饑ケ許リモチアツタ早朝出  
発時ハ天ダ暗カク北陸本線ヲ富山カラ越後ニ出タ車中ヨリノ越後ニ八田ガ多カク  
シ北陸福井ハ良好イ見受ケラタ親不知ノ附近ノ海岸ハ日本海ノ荒波ガ岸ヲ洗フテ壯快ナ  
モデアツタ車中カラ眺ハ又アツアル汽車ハ十二時頃直江津ニ着イタ信越線發車間際  
トテ窓カラ眺下リ幸ウテ乗車ニル事ガ出来タ信州ニ入テ林檎畑等モ見ラシテ高崎ニ  
着イタハ夕六時ノ時中分ノ入高線ニテ金子駅ニ着イタ子ト別シテ金子ニ帰ワタ  
九ノ二日附ノバカモ通信ハ香川縣ト豆島特別幹部候生隊赤松隊ト云フ隊名モ  
屋イタ豊後カラ八月廿日移駐ニワタム豆島デアツテ特別幹部候生ニ教育ニ当ルコトニシタ  
コトガ判明シテ文面ニ入リ八月廿日香川縣及甲子部ト云テ来豊セラシタ由日用品ト共ニ  
手紙ハ拜見シシタ(雲霧)木隊ニ携行シタ日用品ハ手紙ヲ附シテ風呂敷包ノ傍ニ一冊ヲ置  
送頭ヲ補依履ニ置置イタ一部ノ行李モ其ノ当時ハ四重巻ヲリ合時ニ發送スルカラト事  
デアツタ今意気落シタル特別幹部候補生ト共ニ連日演習カインシテ居リ彼等ノ  
体質ナ漆白ナ然モ別々ナル豊岡至清八頭ガ下リニト云フ事デアツタ豆島ニ於

此教育生活ハ此一葉ノハガキダケテ詳カニ知ル機會ヲ得ナカシタ多分特許生ノ教育ニ  
多忙ヲ極メタ爲デアラウヲアラウハ巨島ニ居ル者又面會ノ機會ヲ得ルモ出来ルカ否カ  
一八九三。広島縣宇島船練習部ヨリ通知アリ九月十日ヨリ十日ノ間ニ於テ面會ヲ  
差許スト事デアラウ度下月前自ヨリ日ハ四國ノ豊後迄行テ面會出来ナカク是  
非宇島ニ於テ會フ事が出来ル如ク祈リテ出發ノ準備ヲシタ今度ハ八王子ノ方ニテ  
カタ正吉ヲ連レテ二人で行テ事トシタ九月四日宇島着テ予定テ準備シタ九月十日未  
ダ着氣ハ烈シカク金子駅ニ着テ東京駅ハ自時上同ク列車面下安志島ニ着イ  
タハ九月四日朝七時頃デアラウ夜八時山見カラ明ケ初テ居タ云島駅前カラ電車ヲ宇  
島ニ向テ宇島ハ広島市一部ニテ居タ云島市ハ中國ノ都會ニテ市街モ整  
然トシ居リ大キナ銀行會社ノ建物モ可成ヨカク電車中テ船舶練習部ハ教ハル  
ル僮ニ直グント判ワタ云島ノ町カラ可成離シタ大道ヲ左ニ才入ッテ所デアラウ其ノ直リ前  
ニ兵舎ヲ建テ建物が相当並ビ建テ應召兵トイ人達ガ庭ニ訓練セラテ居タ衛門ニ  
行テ来意ヲ告ゲ入ッテ右ノ面會所ニ待タ午前十時頃デアラウ三四十人ノ面會人ガ訪  
テ居タト人達モ近口ノ内ニ出動スル兵士ノ近親者達デアラウ惜別ノ情ノ氣ガ各  
所ニ見受ケシタ行先ヲ問ハス親ノ信ヲ托ス兵士思ハ誠ニマデニ無心ニ笑フ子孫ノ  
顔ヲ見ル親ヲイ兵士見テ胸ノ詰ル感シタ午前十時半頃一部ハ漸ク正吉ニ伴ハレ

面會所ノ準備ニ於テ多暇取リシ事先聞イタツルヨリ日外泊ノ世間ヲアルル

ドコカ旅館ニテテ証サウ下ノ事デアラウ衛門ヲ出テテ行テ所ヲ詳シク志シテ事ヲ告  
テ正吉ガ面會室ニ取リ行ッテ宇島ノ町モ破止場ノ方ガ賑ヤカデアラウ暑サモ東京  
ヨリ暑イ氣ガタノ新ノ旅舎ニ屏ノタガ病人ガアルノイテ別ノ旅舎ニ泊ル事トシタ二階  
ノ女湯ニバカリノ座敷ニ通ッテ蒸ケテ草ガ出来タ旅舎ニ飯甲米ヲ渡シタ持テ赤  
飯モ鶏卵モ一手臭ヒヨ世間ヒテ来リテ之モ叔母サンニ渡シタ私達ハスグ近所ノ錢  
湯ニ行テ事ニシタ夏ノ白着トシ海岸ノ角ニハ潮ノ香リガプリント島ヨリテ来タ夜  
ノ錢湯ハ相当混ソテ居タ湯ノ方帰ヘルト座敷ニハ一部ガ待テ居タ一月十八日突然  
ノ滯留以來入自振リノ面會デアラウ近所ノ人達ノ動靜ガ特ニ話題ニナラ烟作物  
ノ話モ出タ親戚ノ人達ノ話モアラウ入自日遙ク四國迄面會ニ行ッテ面會出来ルカ  
ノ話モシタ歸リシ出雲大社ヤ天ノ橋出永年寺ト北陸廻リノ話モシタ四南ノ作柄モ表  
本筋ハ余ノ良クナイ日本海廻リノ方ガ良イヤウナ話モシテ供出問題モ話ノ種デアラウ  
一郎軍隊生活並ニ今任ノ動靜ニ付テハ余リハヨキリシタ話ガキケナカウ特許生若  
イ人達ヲ連レテ神籠方面ニ近口程出發ス事ニテ居ル(此ノ事ハ右日皆本中隊長  
ノ聞イテ見ルト既ニオ三挺身隊(特攻隊)トシテ重大任務ヲ就イテ居タデアラカ此處  
ノオハ少シモ觸レナカウ)愈ニ會フテ見ルト教百軍ヲ載テ宇島迄来タ話ノ種ハ一晩中

語に程多イモノデモナカワタ、然し心中デハ是ガ一生ノ別レトナルカモ知レ区ト云フ心ノ奥ニ  
話ヲ事出来又何物カガアワタ、此ノ一言ハ云フテ云フ事出来又神聖クテ語デアワタ  
私達ハ心中デオ互ニ云ヒ合ッタニ過ギオカワタテアル、今ニシテ憶ヘバ矢張り之ガ終世ノ  
別レトオダテアル、友達ノ純之助君ヤ、誠一君ヤ、久根君ヤ、登花藏君、邦走君、語ハ  
極メテ快適ニ語ヌ事ガ出来タ、豊臣共ニ於テ加田軍曹ノ時計ノ事モ會ッテ見ルト  
案外簡單ニ話カワタ、軍曹平落デ一部ハ既ニ軍カラ一箇ノ時計ヲ配給サレテ居タ  
精工會時計デ余リ良品デナカワタテ持参シタモノト取換ヘテヤワタ、軍カモ海水ニ浸  
ル爲良品ハ不要、借在社製ノモノト聞合セルト事デアワタ、夏ノ夜ハ十二時ニハ直グニオ  
ワ、私達ハ車中ノ疲レト一部ノ隊内ノ疲勞デ寢ルトシタ、隣ノ室ニ若イ應召兵ガ今  
迄騒イテ居タ、此ノ方モ十一時ニテレント静マテ来タ、蚊帳ヲ吊ワタ入置、部屋父子  
三人ハ將来ノ思出トナル字品ノ一夜ヲ明スルニシタ、一部モ正吉モ既ニ寢入ワラシイ、東向  
キノ窓ハ夏ノ差込モテ夕冷ヤ、カナ海風ガ障子ノ間カラ吹込テ寢ラレ又程ノ暑サモ感  
ナカワタ、三人ハイカ寢入ワテ居タ  
カ有首、中島、旅舎父子三人ハ朝迄眠リ、一部モ正吉モ自分が目ヲ醒シテカラ約三分モ眠ワ  
テテ多様ガ出来ルダニ人ニ醒眠ヲトラセル様ニシタ、是ガ終世ノ別レトカモ知レ区ト云フ思ヒガ  
再ニ私心ヲカステ通ワタ、コナ事ヲ考ヘテハオダト、思ヒ返ヌ時、一部ノ寢返リヲ打テ居タ

太陽は陰障子に眠り、彼等八目ヲ醒シテ来タ、夕ハ寢ニカク、若イ子供達眠カト聞ク  
事ハ無事ニ程、ヨク眠ワテ居タ、捕圍ヲ方付テ、輕イ朝食ガタ、宿ヲ出タ、八七時半  
頃、テテ多海岸通リ、六應百兵ガ右往左往ニガテ、見習士官ヲ見テ、敬礼シテ行ワタ  
船着場ニ来テ、環船ヲ見テ、朝ノ宇呂港、泉色ヲ眺メ、薄ノ香デアラワカ、海辺特  
有ノ香ガ朝風ニ集リテ、鼻ヲワク、港通リデ三分許リ、朝ノ宇呂ノ実ニ完持ガ良カワタ  
茲ニ島行電車終点デアラテ、小サ電車ガ発着シテ居タ、話スベキ話、聞クベキ話モ  
未タ残ワテ居タデアラウ、然レコロハ心中デオ互ニ諒解シテ事柄デアラ、九時頃隊帰ル  
一部トシテ人別レト時間ハ刻々ニ来テ居タ、コ何時迄居テモ同ジカラ、此辺デ別レヨウデハ、一  
一部モヨク承知シテ居タ、コテハ丈夫デイケレ、國家ノ多御奉公シテケレ、別レテ際ニテモ、残ス  
ベキ言語ハ何モナカワタ、私達ハ折リ、電車ニ乗リ、終点ニ到リ、故ノ発車迄ハ五分位ノ時  
間デアラ、一部ハ此側ノ乾物屋ヲレイ、店先ニ何カ見詰メテ居タ、私ハ車中カラソレヲ注視  
シテ居タ、或ハ之ガ一生ノ別レトモ知レ区ト云フ思ヒ、心ガ堪ヘラ、又程彼等ヲ引付サレテ、イワ  
少シ夏履セシク、同ジイサ、ギョント、彼等ノ姿、乾物屋ノ店頭ニ如何モ淋シク悄然ト、夕  
心ノ影ガ終世ニ忘レルト、出来ナイ影ヲ刻シ付テ居ルハデアラ、車掌ノ発車ノ声ハ、心トシ  
タ一部ハ未タ乾物屋ノ前ニ何カ見詰メ居ル様子デアラ、之ヲ車中カラ見詰メ、ナカラ私達ハ彼ガ  
戦場行キニ袂別レテアル、一部ノ姿ガ見テ、テ頃、終世袂別レカ、又心中ヲ掠メテ行ワタ、始メテ自

金立返ワ頃 正吉ハ無心ニ學外ヲ眺ミ居タ、四五ノ客ヲ乗セ電車ハ船舶管理部前  
ヲヒタ走リ大島駅ハト直行安生別 帰途アリト程乱シタ心ニハドナナ町ヲ通ワカ  
判ヲカマツ華ヤカナ大通りモ大キキ建物モ気ニ止マラカワタ、ワドウカ丈デ帰ツテクヒ 吾等  
一念ハコシテマタ末窓ガ車窓ガ側ニ居カクテ熱イ目頭ヲ拭ク事デアワテアラハ、  
巖島神社参拜ノ私達ハ大島駅ニ下リ前ノ角デ電車ヲ乗換ヘタ終末ノ安藝大野駅  
迄四五十分カ、ワタラウ、茲カラ官島行キノ客船ガ出タ、乘リ心地良イ遊覧船デアラ、大野  
カラ官島迄三分位カラウ、遙カ向フ巖島神社ガ望見セラレタ、近ワタニ從ワテ海中ノ  
大島居ガ判ロキリシテタ、朱塗ノ宮殿ヤ廻廊ガ珍、椽ニ山麓ニ添ヒ出デ来タ、船着  
場カラニ三町テ大島居附近ニ出、櫛笈答タル志樹ニ覆ヒタ宮島ノ麓ヲヒト巖島神  
社ニ達スル、九月五日ハ「玉取」ノ神事トシテ神社ノ大祭ロデアラ、附近カラ人出ハ多ク道  
ニ雑沓シテ居タ、海中ノ四本柱ヲ立テ、其ノ中ニ玉ノ入リタル箱ガ吊リ下ゲテアル、此ノ玉ハ遠カ  
遠ク離レテ船ニ乗ワタ、吾等ガ獲ヲ以下ル椽ニ仕組マレテアル、若イ多数ノ遠カ乗裸ニ  
ナラ、紅白ニ軍ニ別シテ此ノ玉ヲ奪ヒ合フデアル、玉ヲ吊リ下ワテ居ルヲ取ル事ガ一仕事デア  
ラ、夕肩車ニ乗ワテ上ワタモノモアワタ、結局者主ガ獲ヲヌルマ時、聴ビワイテ玉ヲ取ルコトニ、一  
度取ツタ味ガ方ニリレ、式ニ授ゲ渡シ障地ニ遠セント敵ハ之ヲ奪ヒテ味ガ方ニ授ゲ  
渡ス、其ノ壯烈ヲ移ハ運動競技、其ノ偉大ナル神事ノ祭詣ハ、田圃ヲ通テ本殿ニ達スル

満潮ヲ終リ社殿ハ水上ニ浮テ居ル如ク、床下ノ白砂上ニ赤黄カクセテ居ルガ鬼石本殿カ  
前ニ左右廻禮ヲ眺ム、大島居ヲ遙カ海上見ル景ハ巖島神社ヲ指シテ外ニイデアラ、  
只今景ノ一タルニ愧ヌ景色デアラ、玉取ノ神事ハ終リタ時、計ハ既ニ二時デアラ、再び  
連絡船ヲ大野駅ニ戻リ大島駅ニ着イタ、山陽本線モ又乗客制限ノ電車整理等ニ伴  
ヒ、夜七ノ肩ガ折レタ、午後十時頃ニナラ、八乗車出来ヌコトニテ居ル、山ノ方駅前ヲ夕食  
シ、北ノ方駅ヲ歩タ、金ノ店ノ前ヲニ三回歩タ、夕飯ヲ得ル事ガ出来ナカワタ  
岡山地方ノ食糧事情ノ悪イコトハ豫テ考ヘテ居タ、事茲ニ至ルト痛切ニ感ジル事デアラ、  
一時汽車ハ京都行デアラ、途ヲ姫路テモ下車サセシタ、其ノ都度乗車制限証明  
書ノ呈示ガ必要デアラ、航空本部ノ鑑ヲ幸ヒ之ヲ以テ幸ニス、南所ヲ通過シテ帰リノ  
食糧ハ、ハン三個デアラ、夕外ニ葡萄酒ト利カガニニテアワタ、コレデ約一日ニ分、食テア  
途ヲ乗換ヘ乗車等ニ時間困難ニ逢ヒ、九月七日夕、無事帰宅シタ、戦時ノ長途  
旅行時ニ夏ノ旅ノ如何ニ容易ナラザルカラ能ク体験シタ事デアラ、  
九月九日附一部ヨリハガキハ、四日宇島ニ於テ長途ノ面會ヲ謝シ、尚官島鬼物ノ様子  
尋ネタモテアワタ、豊菲生活ノアルハ、マラ送ワタト事デアラ、更ニ今后音信不通ニシ  
ラ、近所方ニモ宣敷ク、返信不要トアリ、愈ニ特別幹部候生ヲ率テ、神繩進駐ヲ囑ヒ  
示シテ来タモノ如クデアラ、

三三三 経ワタ時ヲル野屋工場、おきよえが来ラテ、石川虎三、息子達部居ガ由三、  
卒業特幹ニ志望シ豫テ大豆島ニ船教育隊ニ隊中慶近沖艦進駐ナル所  
テ休暇ヲ与ハシ九月廿一日早々帰隊シ、九月廿三日頃出立スルヤト、話ヲ聞イタ達  
部君、話ハ一部話トヒタリ符合シ、一部ハ達部君等ヲ引率シテ沖艦ニ行フト云フ事ハ  
確實、想像トナラ特幹ハ外泊許可ガアツガ長官ノ一部等ハ出立準備ノ多忙ニ帰省  
ハ許サレナカド事デアラウ。

其後一部カラ音信ハ何モ無カド、二十日頃カラ、三ノ兵ガ肩ヲ並ニテ帰省ト云フ、  
夢ヲ帰省ノ車中窓カラハキリ一部ノ夢ヲ見ケタ夢ヲ再度見ルトガアワツ、其都  
度不思議ヤ家内誰カガ一部ノ夢ヲ見テ居タ、何トク不安ノ気持ガヒテオチカツタ  
戦況モカナル徹退任ハアリユーニヤテ取リテ硫黄島ハ玉碎トヒリピン作戦ハレテ  
島ノ敵ノ上陸ナリテ次々ト容易ナラヌ事態ガ差迫ル怖感シラタ、台湾沖ノ航空戦  
ニヨリテ敵艦艇ニ太打撃ヲ與ハタト云フ報道ハアワツガ之ハ友ヲ我日本海軍ガ痛  
ク度ケタ海戦デアララシ、内地決戦等ト夢想タモシカツタ事案ガ或ハ来ルカ  
ト云フ国民ノ気分ニテ来タ農村ノ戦ハ、唯食糧増産ニ他ヲ顧ミルコトナク、  
指導上指導サレテ行ワタデアル、斯クテ十九年秋来ルモ一部カラ音信ハオク冬ハ血ハルコト  
ニ、二十一年十月二十日鹿児島局ノ消印アルハ、沖艦進出カ一信ハ、

健康の祝

「今日明治節、佳キ日南国、カラト晴タ白々、鳴々声黒潮、磯波ノ音ノ聞  
キ、遠カ祖国ヲ 遙拜シ此ノ佳キ日ヲ壽ギマタカ一信ヲ願フ、茶ヲ茶ハ当地ニ少  
ナク番茶ヲモ結構デアカラ、其ノ百斤御送付下サイト云フモテ、明治節トテ、  
イタ手紙ガ約六丁目徑ニ届イタデアル、カラト晴タ南国、明治節・特幹ノ教  
官トテ、深謝スル一部、汝ヲ想像シ、マアヨコソトマツ、唯、家内ガ浸シ  
部隊名ハ沖艦駐那覇郵便局ガ付、一カセニ九部隊皆本隊トシテ、沖艦ニ駐ル  
ニテ事ハ確實トナツ、カ一信ハ不著デアラカ、茶ハ要切ナルモ、ガマルコト、金ノ局  
ニ、岡岡局ノ照会シテ、沖艦行キ小包ハ取扱ハマトス、竹根ノ局、試ニ問合スト  
別ニ制限ナシト事デアラ、一月十日早速箱ニ茶ヲ茶ハ藤栗ヤ、雜誌新聞等定置ニテ  
モ、手話ヲ書留便ヲ送達シ、然レ之ガ必キ安全ニ沖艦ニ到着スルカ否カトナルト、  
分ナカラ一紙ノ不安ハアツタ  
一九二二、三〇 那覇郵便局ノ消印アルハ、カ一信トテ、二十一日ヨリ、  
謹賀新年、其ノ後永々御無少ハ致シ、比留先氣ノ事ト拝察ス、当方至リテ先  
旺盛、現載下ノ新年を南国に迎ヘ、意気正ニ敵を吞ビ、概あり御安心下、近所皆  
株にも直敷ニ御伝声下、先子御「報送」現載下ノ新年を迎ヘ、士気隆々、感戴

元気が衰へて

此時分当方カラの通信ハ郵便局ヲモ受付テ居ラヌ旨公示シテアリ到着ハ不能デアラフ事  
航空本部ヲ根上久司ノ會ヲ際「本部案并中佐參謀ガ沖繩本島ニ居リ毎日曜日  
ニ航空便ヲ艦本カラ出シテ居ルカラ通信スルヲ艦本ニ居イテ置イテ莫イタイト事  
デアラ根上居ヲ通ジテ三通信書信ヲ托シタ此ハ航空便ガ果シテ届イタカドウカハ多  
少ノ不安モアラフ事当方ノ模倣ハ可成詳細ニ報知シタ設デアルカラ此ハ通信ガ届イタコトナ  
ラズニテ讀ム事デアラウ

二〇、二五、日附印指印等一切不明デアルガ一月十五日通信ト假定シタ当方六才三信デアル一部  
三ハ才五信デアラフ(才一信才四信ハ不着)此ハガハ三月四日福徳神社御祭典ノ当日届イ  
拜啓其ノ后如何ですか家内一同至ク元気ノ事と思ひます、こちらモ衰へたり至ク元気  
ト去去一月十日附テ陸軍少尉ニ任ぜられ以前に増シテ専心軍務ニ鞭勵努力  
シテ居ります、中島久雄代純之助君等ノ住所ガ知れたら早速御傳へ下さい、こちらハ  
詳細後便で知らせます、ト云フ短文モテアラフ(姓名ハ)那霸郵便局気付珠  
一ハ七九部隊皆本隊デアラフ一月十一日陸軍少尉ニ任官シタト云フ事ハ家内一同喜  
ハシク又久雄君ヤ純之助君ノ友情ヲ忘レ居ラフモ嫌シイコトデアラフ  
然レテ此ハ通信ハ最後ノモノトナラフデアル、其ノ后ハ詳細ハ待テトモ、  
カダ此ハ片ハガキガ十日十音頃通信トモイテ考テ十日ト假定シタ其ノ后ハ事ハ  
シテ知ル由モナク二十音頃慶良間列島ノ空爆ニヨリテ沖繩島變ハ急ナリ  
ニ至ク、慶良間列島ガ艦砲射撃ヲ連日受テ居ル事ヲ報テ新聞ヤラフ  
ハ沖繩戦ヲ以テ大東亞戦争ノ天目トシテ国民ノ心ハ此ハ沖繩戦ニ集注セラレタ然レ  
日々ノ戦況ハ必ズモ樂觀ヲ許サズモアラフ、吾軍ハ押セ気味アラフ新聞、ガキハ  
航空機増産ヲ叫ビ續ケテ居タ制空權ハ遺憾ナラ敵ノ掌握シテ居ル事  
ニ感ゼラク慶良間列島、アカ島カラ艦砲射撃隊ガ公陣ト幹候出身ノ大下少尉  
指揮ヲ下シ官ガ度ニ「行々報テ特攻隊ノ戦況ヲ報テ上聞ニ達シタ此ハ至極ニ  
有リ新聞紙上ニ発表セラレタ三月二十日慶良間列島ニ敵ハ上陸ヲ開始シテ沖繩本島  
ニ對シテ壓迫ハ益々熾烈ヲ極メタ本島ヲ援テ、精神ハ遮断サレ航空決戦モ殆  
ト見ルコトガ出来ナラフ孤軍ヲ以テ沖繩ヲ死守スル以外ハ事ヲ觀守セラレタ敵ハ沖繩  
本島上陸ハ三月二十日開始セラレタ四月一日大本營參謀ハ「沖繩本島周辺ノ敵軍  
三工百朝其ノ部ヲ以テ神島並ニ前島ニ本軍百朝乘其ノ至カヲ以テ本島南部  
地区ニ上陸ヲ開始セリ」其ノ后ニ於テ本島ノ戦局ハ益々茶迫ノ度ヲ加ヘ本島唯一ノ飛行  
基地北中飛行場ヲ奪取セリ、皇軍ハヒッ押しニ南部地区ニ撤退シ、最後ノ段階ニ到達  
一、方歐洲テモ四月廿日赤軍ハベルリン市內突入シ東北南ニ方ヨリ殺到シ内外情勢ハ

カダ此ハ片ハガキガ十日十音頃通信トモイテ考テ十日ト假定シタ其ノ后ハ事ハ  
シテ知ル由モナク二十音頃慶良間列島ノ空爆ニヨリテ沖繩島變ハ急ナリ  
ニ至ク、慶良間列島ガ艦砲射撃ヲ連日受テ居ル事ヲ報テ新聞ヤラフ  
ハ沖繩戦ヲ以テ大東亞戦争ノ天目トシテ国民ノ心ハ此ハ沖繩戦ニ集注セラレタ然レ  
日々ノ戦況ハ必ズモ樂觀ヲ許サズモアラフ、吾軍ハ押セ気味アラフ新聞、ガキハ  
航空機増産ヲ叫ビ續ケテ居タ制空權ハ遺憾ナラ敵ノ掌握シテ居ル事  
ニ感ゼラク慶良間列島、アカ島カラ艦砲射撃隊ガ公陣ト幹候出身ノ大下少尉  
指揮ヲ下シ官ガ度ニ「行々報テ特攻隊ノ戦況ヲ報テ上聞ニ達シタ此ハ至極ニ  
有リ新聞紙上ニ発表セラレタ三月二十日慶良間列島ニ敵ハ上陸ヲ開始シテ沖繩本島  
ニ對シテ壓迫ハ益々熾烈ヲ極メタ本島ヲ援テ、精神ハ遮断サレ航空決戦モ殆  
ト見ルコトガ出来ナラフ孤軍ヲ以テ沖繩ヲ死守スル以外ハ事ヲ觀守セラレタ敵ハ沖繩  
本島上陸ハ三月二十日開始セラレタ四月一日大本營參謀ハ「沖繩本島周辺ノ敵軍  
三工百朝其ノ部ヲ以テ神島並ニ前島ニ本軍百朝乘其ノ至カヲ以テ本島南部  
地区ニ上陸ヲ開始セリ」其ノ后ニ於テ本島ノ戦局ハ益々茶迫ノ度ヲ加ヘ本島唯一ノ飛行  
基地北中飛行場ヲ奪取セリ、皇軍ハヒッ押しニ南部地区ニ撤退シ、最後ノ段階ニ到達  
一、方歐洲テモ四月廿日赤軍ハベルリン市內突入シ東北南ニ方ヨリ殺到シ内外情勢ハ

日中條約之益、緊迫の大東亞戦、夫日山タルギ中條戦モ有アリ遂ニ牛島嶼  
中將最高指揮官、眞壁附近ニ於テ壯烈ナル自及ヨセシ幕僚モ之ニ從テ即降戰  
ハ斯ヲ敗レ去リ、戦局ニ對テ予感國民ヲ予暗黙ニ知ラセザルヲ得ナカク、次  
ニテ来ルベキモ、敵、本土上陸ト云フ最後の段階ニ突入シタ國內ハ總ニ兵員カ動員  
セラレタ一億特攻、竹橋隊、切山等老幼男世ニ至ルマテ叫ハレル稱テ、然レ此  
原始的戦法カ此、重大ナル危局科、予戦ヲ感スベキモ、アルカ否カ、國民自身既  
ヨリ判テ居タ古語ニ云フ「螳螂、斧ヲ以テ螳螂ニ立向フ」等、予モガア、夕、報導機  
関ハ總ニ興奮セル文字ヲ運ネテ一死救國ヲ叫、過、三月十日、東京、大空襲、以、来  
全國有カナル七十餘、都市ハ殆、B、29、ニヨリテ、灰、燼ト、歸、夕、連、日、連、夜、警、戒、警、報  
空襲警報ハ鳴リ、郷、イ、夕、國民ハ此、警、防、ニ、麻、痺、シ、来、テ、敵、機、ヲ、見、ル、非、ハ、防、空  
壕ニ退避シ、橋、ナ、事、ハ、カ、カ、夕、全國、軍、事、工場、之、亦、拾、集、ス、ベ、カ、ラ、ザ、ル、損、害、ヲ、蒙、ク、夕  
日本、軍、需、生産、ハ、全身、不、陸、ニ、陥、ク、夕、地下、工場、林、間、工場、等、ガ、計、画、セ、ラ、レ、タ、ガ、短、時  
間、ニ、運、転、不、能、デ、ア、夕、軍、需、資、材、損、害、地、方、分、散、警、行、ハ、タ、カ、大、局、カ、見、ル、上、處  
惡、ノ、症、状、ヲ、呈、シ、テ、チ、タ、デ、アル、曰、本、海、モ、東、京、灣、モ、敵、潛、水、艦、ガ、出、没、シ、タ、大、平、洋、岸、  
各、都、市、ハ、極、烈、ノ、艦、砲、射、撃、ヲ、受、ケ、夕、精、英、ヲ、誇、ラ、タ、帝、國、海、軍、ハ、今、何、處、居、ル、事、テ  
アラ、ク、日本、潛、水、艦、ハ、ト、ウ、シ、テ、ア、ロ、ク、國民、疑、惑、ハ、益、々、募、ル、許、サ、ラ、ズ、タ、

八月廿日、島、市、對、シ、テ、原、子、爆、彈、使、用、國民、對、テ、先、心、衛、戰、ヲ、告、シ、タ、其、情、状、ハ、残  
虐、ニ、非、道、ヲ、極、メ、テ、十、數、方、人、員、ト、全、市、殆、ト、テ、灰、燼、ニ、歸、ス、夕、更、ニ、自、身、會、議  
稱、部、ハ、突、如、ト、シ、曰、本、ニ、對、シ、宣、戰、ヲ、布、告、シ、滿、洲、各、地、ハ、潮、風、枯、葉、ヲ、捲、ク、状、能、ク、  
不、テ、来、タ、關、東、軍、精、銳、モ、亦、如、何、ト、モ、其、大、街、カ、カ、ラ、ズ、シ、ル、更、ニ、長、崎、市、對、シ、  
原、子、爆、彈、使、用、ハ、國內、ヲ、震、駭、セ、タ、原、子、爆、彈、使、用、ハ、聯、合、戦、ハ、遂、ニ、終、ル、  
ヲ、恐、ミ、ホ、ク、夕、四、國、宣、告、ヲ、受、諾、セ、ザ、ル、ヲ、得、テ、對、テ、狀、况、ト、ナ、リ、畏、ル、多、ク、モ、天、皇、降、下、  
セ、ラ、レ、タ、八、月、十、四、日、大、東、亞、戰、争、終、局、聖、斷、ヲ、下、シ、給、ヒ、之、南、ス、詔、書、ヲ、御、授、幣、  
ヲ、セ、ラ、レ、タ、十、五、日、正、午、ヲ、ゲ、テ、全、國、民、ニ、今、后、ノ、嚮、マ、ズ、キ、所、御、訓、ハ、マ、ラ、セ、ラ、レ、タ、  
昭、和、六、年、十、月、自、宣、戰、大、詔、ヲ、拜、シ、テ、ヨ、リ、四、ヶ、年、余、支、那、支、援、ヨ、リ、八、ヶ、年、長、期、  
ノ、今、次、戰、争、モ、大、和、民、族、血、涙、裡、ニ、痛、恨、極、リ、ナ、キ、終、止、符、ヲ、打、ッ、タ、アル、  
コ、境、ハ、忍、ビ、難、キ、ヲ、忍、ビ、テ、以、テ、萬、世、ニ、太平、ヲ、南、カ、シ、ト、御、詔、書、ニ、宣、セ、タ、全、國、民、ハ、感  
ト、シ、テ、声、ヲ、激、シ、英、ノ、支、ニ、對、シ、無、條、件、降、伏、ヲ、ナ、シ、終、ル、タ、  
鈴木、賢、太郎、内、閣、ハ、辭、職、シ、東、宮、内、閣、成、立、シ、時、局、集、拾、ヲ、行、ハ、セ、タ、三、十、年  
九、月、二、日、午、前、九、時、國民、ト、シ、テ、忘、ル、ベ、カ、ラ、ザ、ル、日、ト、シ、タ、橫、濱、沖、合、礎、泊、中、ノ、水、艦、  
艦、上、於、テ、帝、國、代、表、外、相、重、光、葵、陸、海、軍、代、表、梅、津、參、謀、總、長、ト、共、ニ、聯、合、國、代  
表、マ、カ、サ、シ、元、帥、ト、同、ニ、降、伏、文、書、ノ、正、式、調、印、ヲ、終、ハ、タ、

百萬ノ生靈ニ千億ノ國幣ヲ費シテ日本民族興隆ノ一戰トナシク大東亞戰事ハ  
皇國三千年ノ歴史ニ未嘗有 無條件降伏タル一大汚點ヲ印シ興隆途上ニ於テ民族  
今皇國對シテ挫折暗影ヲ投ズルモノトナリ敗戦國民タル悲慘ナル生靈ヲ今後嘆  
スルバク國難困難世相悲運等ハ民族ヲ今後如何ナル方面ニ導行ス事デスルカ  
公動ノ兵員内地ニ百萬以外地ニ百萬ノ方復員計画ハ發表セリタ帝國海軍ノ現狀  
空機執力ノ現狀等モ明瞭ニ國民ニ發表セラレタ國民此無慘ナル敗戦ニ眞相  
然タラカヲ得ナカク飛ハル飛行機ハ幾百台ニ過ギカク而モ之ハ才一線ニ五ノキモ  
有リ又動ク軍艦ハ數隻ニ過ギス 戦艦ニ於テハ航行し得ルモノ無カクテアル此無慘  
尤狀態ヲ以テ尚最後ノ勝利ヲ叫ビ一億特攻ヲ宣傳シテ以テ國民ヲ此悲慘ナル極地  
迄追ヒ込メシマワタデアル帝國ノ歴史ハ而今日本民族ハ此等無謀ナル無智ナル國  
家指導者特ニ軍閥ニヨリテ取返シノカメ破局ヲ招来シテシマワタゲアル  
内地復員ハ九月ヨリ順次實施セラレタ下月カニタ月遠カラ内地ノ應召者ガ背負ル限  
リ軍用品ヲ持テ歸リテ来ク敗戦後軍需物資ノ始末ハ社會ノ物議ヲ醸シタ  
種々事件ヲ起シク南方支那カラ復員者モホリク見當ラザ然シ中境ノ狀態ハ少シモ  
知ル由ナカク十一月二十日在外部隊ノ復員ノ聞ニ連結シ各府縣聯隊司令部於  
テ行ヒワラズ故不明ノ處ハ因合才新聞紙上ラビオ等ヲ發表ガアタ早速ニ消息

南和聯隊司令部 球一六七九部隊皆本隊ニ付消息ヲ尋ネタ消息ハ一六七九部隊皆

取調ハ各隊其ノモノ所在不明デアラフ止ム者午葉縣ノ中台元島射砲隊陸軍留營  
業務部ニ就テ調査セリ度旨教ハラタ十一月十日福毛親下軍ヲ甲台ノ留守業務部  
ハ七八時距離ヲ直ク判明シ同日十一月十日開業ヲ所員モ書類ヲ来タ完備シ  
テ居ナカク所在ヲテ調査室ガ合シテ居リ甲台方面ノ向合者ハ可成混雜シテ居タ様  
球一六七九部隊皆本隊中島一節ノ對シ向合セタ消息ハ調査ニヨリテ四谷大砲隊如キ  
球一六七七部隊皆本隊ハカニ海上挺身隊ヲテ陸軍若シ特攻隊ノ隊ノ所在ハ押邊  
何處ニ現ニ在リヤ不明デアリカニ挺身隊ハ將校下士官六十余名一部デテ年首現在ニ  
於テ皆健在デアリ然シ押邊戦開始以來其消息ヲ斷ク現在何トモ不明デアリ特攻  
艇ハ小型ノ艇ヲ數雷ニ本抱テテ敵艦ニ砲撃スレテ度出動命令アリタル  
ハ生還時期セカモト思ル本隊駐屯場所ガ戰闘區域外ニアル場合ハ安全ト思ハルカ  
特攻隊ノ性格上言明シ難ク帳簿上ハ健在ナルヲ以テ今後報告ニヨリ申込セラル  
事トナラズ  
ト云フ事デアラフ押邊特攻隊ニ年首迄ハ健在考合セ一様ノ消息ヲ得ナカク然シ  
之以上實向スル事ヲ得ズ由容モ所員トシテ出番得ナカクデアリ  
昭和二十一年十一月二十日冬至一トト所用ニ出番工場ヲ訪由タ其時 遙然石川連部居

